

チャーチル会・大分 会報

2022年(令和4年)5月号

幹 事 長：成瀬 輝一

〒870-0936 大分市岩田町 1-1-1 Tel : 097-558-4344

e-mail : naruse@iwata.ed.jp

事 務 局：岩下 孝子

〒870-0872 大分市高崎 1-5-8 Tel & Fax : 097-546-7899

会報編集・発行：本田 久親

〒870-0875 大分市青葉台 2-5-20 Tel & Fax : 097-543-あ 4013

e-mail : hondahi@oct-net.ne.jp

野外写生に良い季節になってきました。春の絵画展も開催されます。会員 17 人から 64 点、客員から 2 点、合計 66 点の出品登録をしていただいております。盛会を期待しています。

5 月度の会報をお届けします。

● 4 月度月例会報告

【野外写生会】

4 月 3 日（日）、南大分スポーツパークへ桜の写生に出かけました。10 時に現地に集合。この日は桜の満開日から間もない休日で、快晴の絶好の花見日和とあって、家族連れや友人グループなど多くの人出で賑わっており、広大な駐車場もほぼ満杯の状態でした。時折花びらが風に舞って描きかけのキャンバスにくっつく桜の木の近くに腰を据えてスケッチをしました。全員揃って昼食をとり、皆の作品を並べて楽しみました。参加者は、糸井、岩下、佐藤、白岩、曾根崎、中島、橋本、古園、本田の 9 人でした。





【室内写生会】

4月17日(日)、曾根崎産院トレーニングルームでの室内写生を実施しました。大野さんに持って来ていただいた見事な大輪の牡丹やその他の沢山の花などを描きました。昼食後もしばらくスケッチを続けた後、逐次解散しました。参加者は、糸井、岩下、大野、佐藤つき、中島、橋本、本田の7人でした。



● 5月度例会の予定(当番:野田、吉村)

【室内写生会】

5月3日(火)の13時から、コトブキヤで室内例会を行います。

【野外写生会】

絵画展開催月のため5月度例会の野外写生会は取り止めます。

● 新・客員紹介

5月より別府市美術館長の林 淳一郎さんを客員としてお迎えすることになりました。

林 淳一郎 氏

別府市美術館長

大分県造形教育研究会長

大分県美術協会日洋彫工部会長

〒874-0903 大分県別府市野口原 3030-16

TEL & FAX 0977-75-8710

E-mail : art.mus@city.beppu.lg.jp

5月21日(土)、PM2時からの絵画展の講評では、高木先生と一緒にご講評をしていただく予定です。

● 第124回絵画展について

第124回絵画展を5月16日から22日までの7日間、アートプラザで開催します。以下、留意事

項を記しておきます。

- ☆ 案内状の配布：案内状（ハガキ）を本報に同封してお届けしています。会報を Rara で受信している方には 5 月 3 日（土）の例会の際にお渡しします。例会に出席出来なかった方には後日郵送します。
- ☆ 搬入日時：5 月 16 日（月）、9 時 30 分
- ☆ 搬入に際しての留意事項：
 - ① 各作品には、作品番号をハガキ大の用紙に明記し、作品の前面に脱落しないように貼り付けてください。作品番号は本報に同封している目録のコピーに記載しています。会報を Rara で受信している方は Rara に掲載されていますので Rara を開いてください。
 - ② 搬入をコトブキヤに依頼している作品については、箱の開梱は当方で行います。
 - ③ 吊り紐が額縁に正しい方向に付けられているか確認してください。
- ☆ 展示作業：展示作業は業者に依頼していますが、会場のテーブルや椅子のセッティング、作品名ラベルやコメントカードの貼り付け等については皆様のご協力をお願いします。展示順序は目録順に会場入り口の壁際から反時計回りに展示します。展示の都合上多少の順序の調整を行います。
- ☆ 客員講評：5 月 21 日（土）の午後 2 時から客員の先生による講評を行います。ご都合のつく方は是非参加してください。
- ☆ 会場の受付当番：会場受付当番は会期中の毎日、午前と午後それぞれ 2 人必要です。搬入の際に受付当番の可能な日をお聞きして割り付けします。ご都合のつく方はご協力をお願いします。
- ☆ 展示取り外し及び搬出：
 - ① 最終日（5/22）の午後 4 時から作品の取り外し撤去及び会場の後片付けを行います。作品取り外し後の吊り具の回収と員数の確認など後処理作業についてご協力をお願いします。
 - ② 搬入搬出をコトブキヤに依頼している作品については、箱への納梱は当方で行います。

【編集後記】

新型コロナウイルスの感染は全般的に幾分か収束しつつあるかに見受けられますが、強い感染力を有しているとされる変異株の出現により、特に沖縄、九州、東北などの地方都市で一時的にリバウンドの兆候もあるとされています。大分でも一時リバウンド傾向を示していましたが、ここきて前週の同じ曜日を下回る日が続いており収束が期待されているもののまだまだ十分な感染防止対策が必要なようです。5 月の絵画展に際しては、基本的な感染対策を講じたうえで実施します。

さて、絵画展も今回で 124 回、CC 大分の創立は昭和 28 年（1953 年）で来年は古希を迎えることとなりますが、特別な事情で中止した場合を除けば、ほぼ毎年 2 回の開催を続けてきたこととなります。改めて会の存続、発展に携わってきた先輩会員の方々に敬意を表したいと思います。

CC 大分 会報編集事務局 本田久親